

- 1 議長挨拶
- 2 経過報告
 - (1)業務報告
 - 11月26日 学校財政に関する調査2012版アップ
 - 11月29日 日刊連携会議102号(学校便りに学校事務情報を掲載しよう)
- 3 協議題1 「平成25年度 石狩市教育予算要望書」の交流
- 4 協議題2 「保護者負担調査」の分析作業について ~ 別紙1
- 5 実践交流
- 7 連絡事項
 - (1)北広島市協議会の連携会議視察について
27回会議でお知らせしましたが、北広島市の連携会議事務局より視察要請があり、現在、2月22日予定の連携会議に出席いただくことで調整中です。この日は15時から連携会議を開き、北広島の皆さんにも会議に参加をしてもらう方式ですすめることを計画中です。

1. 保護者負担調査の意義

今年度の保護者負担調査については、調査研修グループの協力をいただき、集計作業が終了しています。保護者負担調査については、各校の現状を知ることによって自校の保護者負担軽減などのとりくみに活かすなどの効果はありましたが、「学校財政確立のために活用できる資料をめざす(ひいては保護者負担軽減につながる)」という観点からは、さらにその活用を工夫することが必要となります。

2. 活用の工夫の第一歩として、保護者負担経費と公費負担経費の対比表を作成し、各学校の比較をしてみます。例えば、A校で理科の実験費保護者負担全額に対し、公費負担がどの程度か、その割合などをデータ化することで、校内予算編成や保護者負担軽減の参考にできないか検証してみます。

3. 具体的作業は次のとおりです。

(1) 割り出すデータについて

徴収金項目ごとの一人当たり保護者負担額に児童生徒数をかけた額(集めた総額を調べる)
対応する徴収金項目に対する公費措置額を調べる(学校配分予算・補助金・他団体予算など)

(2) 割り出し項目 今回は試験的取組と押さえて、割り出し項目は最小限とします。

小学校 実験実習材料費

中学校 理科実験実習材料費 美術実験実習材料費 技家実験実習材料費

上記の、小学校1項目、中学校3項目について、割り出し作業を行います。

(3) 作業のイメージ

次ページ参照ください

(4) その他

保護者負担集計表は、ホームページ「会員のページ」(ID irenkei パスワード*****)に掲載します。または、各自お持ちの提出控えを使っていただいても結構です。調査票は本会議終了後エクセルワークシートを送信します。

(5) 提出期日など

期日 12月21日まで。

提出先 連携会議事務局

保護者負担との公費負担の比較検討資料(記入例)

実験実習材料費

学校名	全児童からの徴収総額A	学校配分予算で措置している金額B	その他の経費で措置している金額C	私費負担率% A/(A+B+C)	児童一人当たり平均負担額
小学校	398,400	125,000	3,000	75.7%	1,284
小学校	562,900	183,000	50,000	70.7%	1,332
小学校	623,800	113,000	0	84.7%	1,485

項目の説明

全児童からの徴収総額A	「保護者負担調査集計表」の学年徴収額×学年児童生徒数の総額を計算してください。児童生徒数は、5月1日基本調査数を原則とします。
学校配分予算で措置している金額B	今年の校内配分予算で予算化した金額を記入してください。「その通りの項目名では予算化していないが、実績はある」という場合は、昨年の実績が分かればその額を記入してください。予算化もしていない、実績もない場合は、「予算化なし」又は「実績なし」と記入してください。
その他の経費で措置している金額C	校内は分予算以外の、補助金や他団体の経費で措置されている金額があればその額を記入してください。
児童一人当たり平均負担額	(全児童からの徴収総額A)÷全児童生徒数

小学校	調査項目	実験実習材料費			
学校名	全児童からの徴収総額A	学校配分予算で措置している金額B	その他の経費で措置している金額C	私費負担率% A/(A+B+C)	児童一人当たり平均負担額
石狩小					
花川小					
生振小					
南線小					
双葉小					
花川南小					
紅南小					
八幡小					
緑苑台小					
厚田小					
望来小					
聚富小(併)					
浜益小					